

冬期の凍結による破損防止について

⚠ 注意

- 冬期は暖かい地方でも、機器や配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 冬期に長期間機器を使用しないときは、必ず対策その3の「水抜きによる方法」を行ってください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

対策その

1

凍結予防ヒータによる方法

- この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータが組み込まれています。

■操作のしかた

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると作動しませんのでご注意ください！

⚠ 注意

- 外気温が極端に低く（ -15°C 以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日はこの装置では凍結予防できなくなります。このような場合には対策その2の「給湯栓から水を流す方法」、その3の「水抜きによる方法」のいずれかを行ってください。

対策その

2

給湯栓から水を流す方法

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類の凍結予防もできません。

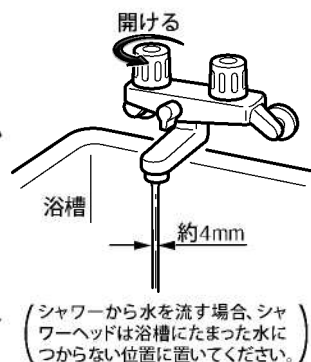
■操作のしかた

- ①リモコンの運転スイッチを『切』にします。
- ②ガス栓を閉めます。
- ③浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。

※この場合、浴槽から水があふれることがあります。

※サーモ付混合水栓やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。

※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。



⚠ 注意

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモ付混合水栓やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご確認ください。